

# 外国語（英語）科学習指導案

〇〇〇市立〇〇中学校

指導者 教諭 〇〇 〇〇〇

- ・日 時 平成 年 月 日（木） 校時 : ~ :
- ・学 年 中学校3年生
- ・場 所 3F 多目的室②

## 1. 単元名 Program 8 Clean Energy Sources ( *Sunshine English Course3* 開隆堂)

## 2. 単元設定の理由

### (1) 教材観

本プログラムでは、セクション1で風力発電を、セクション2で太陽光発電・太陽熱発電をセクション3では波力発電、風力発電、地熱発電などを扱う。前課で関係代名詞 who（主格）を学習した。主語の代名詞になっていたが、今回の関係代名詞 which（目的格）は、統語上類似している点もあるということも併せて理解させたいと考える。そのため、生徒にとって、身近な歌手、国、モノを英語で口頭導入をすることで、聞きなれることをめざす。また、その際、カルタ等のゲーム的な要素を取り入れることで、自然に関係代名詞を用いた文に触れさせる。その後、自分の考えを書く活動へとつなげる。

### (2) 生徒観

「略」

### (3) 指導観

本課は前課より引き続いて関係代名詞 that（目的格）を学習する。生徒にとっては難しく感じる内容である。前課で学んだ関係代名詞 which（目的格）と、本時で扱う関係代名詞 that（目的格）は、先行詞が関係節内の目的語と同じであるという点や「物や事象」を修飾するという点では類似しているが、後者は「人」も先行詞としてとることができるという点では異なる。その点を抑えて目的格 that の定着を図りたい。そのために、様々な絵を用いて、関係代名詞目的格 that を用いて、ある「もの」についてくわしく説明できるようになるよう口頭練習をたくさん行う。また主格との違いに気付かせ理解させる。

## 3. 単元の目標

### 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・全体・ペアワーク練習において間違えることを恐れずに自分の大切な人やモノについて話している。

### 【外国語表現の能力】

- ・自分の住んでいる地域に適する発電方法は何かを考えて自分の考えを書くことができる。

### 【外国語理解の能力】

- ・会話文・発表文の話題や主張を読み取ることができる。

### 【言語や文化についての知識・理解】

- ・関係代名詞 that（目的格）を用いた文の構造を理解している。

#### 4. 単元全体の指導計画と評価規準（6 時間扱い）

| 時間        | 学習活動   | 評 価 規 準（評価方法）                                     |  |   |  |
|-----------|--|---|--|---|--|
|           |  | コミュニケーション<br>の関心・意欲・態度                            | 外国語表現の能力   | 外国語理解の能力                                  | 言語や文化について<br>の知識・理解  |
|           | ○本単元で身に<br>付ける技能や理<br>解する内容を<br>知る。<br>○関係代名詞<br>which（目的格）<br>を用いた文を使<br>えるように練習<br>する。 | 全体・ペアワーク<br>において間違い<br>を恐れずに話し<br>ている。<br>（活動の観察） | この観点では評価<br>しない。                                   | この観点では評価<br>しない。                          | 関係代名詞 which<br>（目的格）を用いた<br>文の構造を理解し<br>ている。<br>（ワークシート、後<br>日ペーパーテスト） |
|           | ○教科書本文<br>（section1）を読み<br>内容を理解する。  | 積極的に教科書<br>本文の音読に取<br>り組んでいる。<br>（活動の観察）          | この観点では評価<br>しない。                                   | 会話文の話題が何<br>かを読み取ること<br>ができる。（ワーク<br>シート） | この観点では評価<br>しない。   |
| 3<br>（本時） | ○関係代名詞<br>that（目的格）を<br>用いた文を使え<br>るように練習す<br>る。   | この観点では評<br>価しない。                                  | この観点では評価<br>しない。                                   | この観点では評価<br>しない。                          | 関係代名詞 that（目的格）<br>を用いた文の構造を理解<br>している。（ワークシ<br>ート、後日ペーパーテスト）          |
|           | ○教科書本文<br>（section2）を読み<br>内容を理解する。  | 積極的に教科書<br>本文の音読に取<br>り組んでいる。（活<br>動の観察）          | この観点では評価<br>しない。                                   | 大介の発表文を読み<br>彼の主張を理解して<br>いる。（ワークシート）     | この観点では評価<br>しない。   |
|           | ○関係代名詞（目<br>的格）の省略を用<br>いた文を使える<br>ようにする。  | この観点では評<br>価しない。                                  | この観点では評価<br>しない。                                   | この観点では評価<br>しない。                          | 関係代名詞（目的<br>格）を用いた文の構<br>造を理解している。<br>（ワークシート、後<br>日ペーパーテスト）           |
|           | ○自分達が住む<br>地域に適切な発<br>電方法について<br>書く。   | 辞書を活用する<br>などして書いて<br>いる。<br>（活動の観察）              | 自分の大切なモノや<br>人について、3 行以<br>上で書くことができ<br>る。（ワークシート） | この観点では評価<br>しない。                          | この観点では評価<br>しない。   |

#### 5. 本時の指導

##### （1）本時の目標

- ・関係代名詞 that（目的格）の文の構造を理解し、正しく英文を書くことができる。

(2) 本時の評価規準

| 評価場面   | 評価基準  |   | 努力を要する (C)<br>生徒への手立て                               |
|--|---|---|---|
|  | 十分に満足できる (A)  | おおむね満足できる (B)   |   |
| ○ワークシートの英作文<br>写真の内容を関係代名詞<br>that を用いて書き表す。 | ○写真を見て、その条件を<br>満たす関係代名詞の使い<br>方を理解しており、綴り等<br>も間違いなく書けている。 | ○写真を見て、その条件を<br>満たす関係代名詞の使い<br>方を理解しているが、一部<br>綴り等に誤りがある。 | ○関係代名詞が使われて<br>いる文に注目させ、音読<br>や書き写しができるよう<br>に支援する。 |

(3) 準備物

教科書、ワークシート、ピクチャーカード

(4) 展開

| 指導<br>過程   | 生徒の学習活動  | 教師の支援活動  | 評価(評価方法・評価場面) |
|------------|--|--|---------------|
| 導入<br>( 分) | <b>あいさつ</b><br>(帯活動 - シングル)<br>1. 歌<br>“I Need to Be in Love.” by<br>The Carpenters<br>(帯活動ーペア)<br>2. ワードバトル (単語活動)<br>・新出語彙の口頭練習。<br>・ペアで行う。一人が発音。パー<br>トナーがチェック。<br>・日→英、英→日   | ・立って歌う。歌詞は手に持って顔<br>をあげて歌うようにさせる。  |               |
| 展開<br>( 分) | 関係代名詞 that (目的格) を用い<br>た文を使えるように練習する。<br>1. 導入、口頭練習<br>・生徒にとって身近な歌手、国、<br>モノに関する英語の説明を聞<br>き、カルタ形式でその説明を表<br>している写真を取る。<br>“This is a special dish that we eat<br>during the New Year.” (おせち)<br>“This is a country that Mr. Imai<br>visited.” (バヌアツ共和国)<br>“This is a singer that we like.” (カ<br>ーリー・レイ・ジェプセン)<br>“This is a dish that many people in<br>Osaka like.” (たこ焼き)<br>など。 | ・音声→文字→練習<br>① 全体<br>② 列<br>③ 個人 etc<br>机間指導<br>・ゲームについていけない生徒を<br>支援する。 |               |

|            |  |  |   |
|------------|--|--|---|
|            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書されたキー・センテンス文を、暗記するまで全体、列で口頭練習する。最終的には黒板に何も書いていない状態でも文が言えるようにまで練習する。</li> </ul> <p>“This is a special dish that we eat during the New Year.” (おせち)</p> <p>“This is a country that Mr. Imai visited.” (バヌアツ共和国)</p> <p>“This is a singer that we like.” (カーリー・レイ・ジェプセン)</p> <p><b>2. ワークシート活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭練習した 文を何も見ずにワークシートに記入する。</li> <li>・自分が紹介したい「自分が行きたい国・場所」、「自分の大切なモノ、人」の絵を描き、関係代名詞 <b>that</b>(目的格)を使って、それを説明する英文とその理由を含めた英文を作る。</li> </ul> <p>(例) “This is a country that I want to visit because I can always speak English.” (アメリカの国旗の絵)</p> <p>“This is a bag that I got from my father on my birthday. It’s so cute.” (カバンの絵)</p> <p><b>3. 発表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班で 人代表を選び、ホワイトボードに絵を書き、クラス全体に英語で発表する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カルタの説明で用いた以下の英文 3 文を板書する。</li> </ul> <p>“This is a special dish that we eat during the New Year.” (おせち)</p> <p>“This is a country that Mr. Imai visited.” (バヌアツ共和国)</p> <p>“This is a singer that we like.” (カーリー・レイ・ジェプセン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭練習の回数が増える毎にチャック単位で板書を消していく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導を随時行い、生徒を支援する。</li> </ul> | <p>知識・理解 (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞 <b>that</b> (目的格) を用いた文の構造を理解している。(ワークシート、後日ペーパーテスト)</li> </ul> |
| 確認<br>( 分) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の内容の確認</li> <li>・ 生徒の発表に対して、関係代名詞を用いて内容が伝わったかを確認するため、生徒数名に感想を聞く。</li> <li>・ あいさつ</li> </ul>   |  |   |

Task1. 先ほど練習した文を英語で書いてみよう！

略

(1) \_\_\_\_\_

Carly Rae Jepsen (a singer)



(2) \_\_\_\_\_

Osechi (a special food)



(3) \_\_\_\_\_

Vanuatu (a country)

Task2. 以下の条件にあうように、絵と英文を書いてみよう！

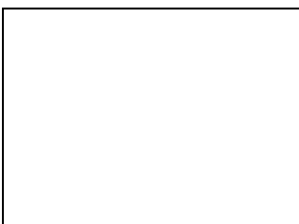
【行きたい場所・国】



(1) \_\_\_\_\_

【その理由】

【私の好きな物・人】



(2) \_\_\_\_\_

Class ( ) No. ( ) Name ( )

# WORD BATTLE NO. 5 (PROGRAM 8-2 ~ PROGRAM 9-2)

Class( ) No. ( ) Name ( )

/ / /

/ / /

- 121.□□□ system
- 122.□□□ calculator
- 123.□□□ cell phone(s)
- 124.□□□ steam
- 125.□□□ solar heat
- 126.□□□ turbine(s)
- 127.□□□ power station(s)
- 128.□□□ wave
- 129.□□□ wave power
- 130.□□□ solar power
- 131.□□□ geothermal power
- 132.□□□ pressure
- 133.□□□ all year around
- 134.□□□ strong
- 135.□□□ be born
- 136.□□□ geography
- 137.□□□ mind
- 138.□□□ make up A's mind
- 139.□□□ nun
- 140.□□□ the poor
- 141.□□□ the sick
- 142.□□□ gather
- 143.□□□ gather together
- 144.□□□ neighborhood
- 145.□□□ alphabet
- 146.□□□ stick
- 147.□□□ soap
- 148.□□□ beg for A
- 149.□□□ Sister(s)
- 150.□□□ sit A down

コ コ コ

- 121.□□□ 方式、システム
- 122.□□□ 計算機、電卓
- 123.□□□ 携帯電話
- 124.□□□ 蒸気
- 125.□□□ 太陽熱
- 126.□□□ タービン
- 127.□□□ 発電所
- 128.□□□ 波
- 129.□□□ 波力エネルギー
- 130.□□□ 太陽エネルギー
- 131.□□□ 地熱エネルギー
- 132.□□□ 圧力、圧
- 133.□□□ 1年じゅう
- 134.□□□ 強い
- 135.□□□ 生まれる
- 136.□□□ 地理学
- 137.□□□ 心、精神
- 138.□□□ Aの決意をかためる
- 139.□□□ 修道女
- 140.□□□ 貧しい人々
- 141.□□□ 病気の人々
- 142.□□□ 集める
- 143.□□□ (1ヶ所に)集める
- 144.□□□ 近所
- 145.□□□ アルファベット
- 146.□□□ 棒、ステッキ
- 147.□□□ 石けん
- 148.□□□ Aをくださいと頼む
- 149.□□□ 修道女、シスター
- 150.□□□ Aを座らせる

コ コ コ